

清掃センターからのお知らせ

問い合わせ先 〔市〕清掃センター ☎ 22-2734番、
FAX 24-7787番

大型連休のごみ等収集と直接搬入



4月29日
(金)から5月
5日(木)まで
のごみ等収集と、〔市〕清掃
センターへの直接搬入は、
下の表のとおりです。
ごみ等収集日は、「ごみ
等の収集カレンダー」を
ご確認ください。

5月3日(火)は火曜日の
収集区域、同4日(水)は水
曜日の収集区域を収集し
ますが、両日とも「缶」
「びん」の収集は行いませ
んの、ご注意ください。
4月28日(木)までと5月
6日(金)以降は通常どおり
行います。(土・日曜日、祝
日は休みです)

休日明けの〔市〕清掃セン
ターへの直接搬入は大変
込み合います。事故防止
にご協力をお願いします。

月 日	4月 29日 (金・祝)	30日 (土)	5月 1日 (日)	2日 (月)	3日 (火・祝)	4日 (水・祝)	5日 (木・祝)
ごみ等の 収集	収集なし	収集なし	収集なし	収集あり	収集あり <small>(缶・びん収集なし)</small>	収集あり <small>(缶・びん収集なし)</small>	収集なし
清掃センター への 直接搬入	不可	不可	不可	可	不可	不可	不可

清掃用ボランティア袋をご利用ください

彦根市では、地域の環
境美化を推進するために、
ボランティアで道路や
河川、公園など公共の場
所を清掃する団体や個人
に、清掃用ごみ袋(ボラン
ティア袋)を配布していま
す。清掃活動で出たごみ
に、ご利用ください。

利用方法などは、〔市〕清
掃センターにお問い合わせ
ください。



▲清掃用ボランティア袋

ガスライターの分別にご協力ください

家庭でお使いいただいたガスライターは、下
の図のとおり分別処理をお願いします。
ガスライターやスプレー缶が原因と思われる
収集車両の火災が毎年発生しています。
もし、住宅が密集しているところで火災が発
生したら、大変な災害になる恐れもありますの
で、正しく分別して出しましょう。



または

市役所、支所、各出
張所、〔市〕清掃センターに
ある「ライター専用回
収箱」に入れてくださ
い。月々金曜日(祝日)
を除く、午前8時30分
午後5時15分にお願
いします。



▲市役所にある「ラ
イター専用回収箱」

ガスライターの 分別の仕方

ガスを使い切り、着火
しないことを確認
埋立ごみの収集日に、
埋立ごみと別の袋に入れ
て、集積所へ

農業濁水を流さないで 今年も基本事項の徹底を！

〔市〕農林水産課

代かきや田植えの時期が近
づいてきました。この時期、
農作業による濁水が流出する
と、びわ湖の水質を悪化させ、
魚など、生き物が住みにくく
なります。年々地域ぐるみで
の取り組みが行われ、少しづ
つ水質は良くなっていますが、
「環境にだわり農業」を目指し
て、濁水を流さない農業を実
践しましょう。

▼けい畔の点検、あぜ塗り、あ
ぜシートを設置しましょう。
▼代かきは浅水で行い濁水を
流さないようにしましょう。
▼田植え前の強制落水は絶対
にやめましょう。

問い合わせ先 〔市〕農林水産課
☎ 30-6118番、FAX
24-9676番

常設人権相談所全国統一 電話番号のお知らせ

大津地方法務局

◆常設相談所 全国統一電話番号

☎ 0570-003-110番

開始日 4月18日(月)

時間 午前8時30分～午後5
時15分(祝日を除く月・金曜
日)

法務省では、国民の皆さん
からの人権相談を容易にする
ため、国などにある人権擁
護機関における常設相談所の
電話番号を右のとおり全国統
一の電話番号にしましたので、
お知らせします。

問い合わせ先 大津地方法務
局 ☎ 077-522-46
73番

従業員101人から30 0人の事業主の皆さん 一般事業主行動計画の 策定・届出、公表・周知 が義務となりました

滋賀労働局

国、地方公共団体、企業、国
民が一体となり、次の世代を
担う子どもたちが健やかに生
まれ育つ環境をつくるための
対策を進めていくため、平成
17年に次世代育成支援対策推
進法が施行されました。

この法律により、企業には、
従業員数に応じて、従業員
の仕事と子育ての両立を支援す
るための「一般事業主行動計
画」の策定、都道府県労働局
への届出、行動計画の公表お

よび従業員への周知が義務づ
けられています。

平成23年4月1日からは、
行動計画の策定・届出、公表・
周知がこれまでの301人以上
の企業に加え、従業員10
1人以上の企業に義務づけら
れるようになりました(100
人以下の企業は努力義務です)。
未策定の事業所は、策定に
向けての取り組みをお願いします。

問い合わせ先 滋賀労働局雇
用均等室 ☎ 077-523-
1190番、FAX 077-
527-3277番

学生納付特例制度

彦根年金事務所

国民年金には、学生本人の
前年所得が一定基準以下の場
合、申請して承認されると保
険料の納付が猶予される「学
生納付特例制度」があります。
承認期間は、原則4月から翌
年3月までです。

また、平成22年度に学生納
付特例が承認された人で、平
成23年度に引き続き学生納付
特例を希望する場合も申請手
続きが必要です。
対象 大学(大学院)、短大、高
等学校、高等専門学校、専
修学校、各種学校などに在

彦根市議会議員一般選挙

4月24日(日) 7:00～20:00

期日前投票 期間：4月18日(月)～同23日(土)
8:30～20:00

(支所は、8:30～17:00)

場所：市役所1階ロビー、支所

投開票速報 投票日当日、投・開票速報をし
ます。彦根市ホームページ [http://www.
city.hikone.shiga.jp/](http://www.city.hikone.shiga.jp/)

問い合わせ先

〔市〕選挙管理委員会
事務局 ☎ 30-6131、
FAX 23-4551



籍している20歳以上の学生
受付窓口 〔市〕保険年金課

(ただし、彦根市に住民登録し
ている人に限ります。市外に
住民登録をしている人は、住
民登録をしている市区町村で
手続きをお願いします)

受給資格期間

学生納付特例が承認された
期間は、次の各種年金の受給
に必要な期間(受給資格期間)
に算入されます。

◆「老齢基礎年金」(将来支給
される年金)

◆「障害基礎年金」「遺族基礎
年金」(万1の場合に支給さ
れる年金)

れる年金)

承認された期間

承認された期間は、10年以
内であれば遡って納付(追納)
することができます。

追納されると、その期間は
保険料納付済期間となり、「老
齢基礎年金」の額に反映され
ます。

追納を希望する人は、彦根
年金事務所国民年金課にお問
い合わせください。

問い合わせ先 彦根年金事務
所国民年金課 ☎ 23-111
4番

作文・小学生の部

勇気を出して

平塚 彩花さん（若葉小学校6年）

「お席をゆずりましょうか。」私は、この一言がなかなか言えません。私は、よく母と一緒に電車に乗ります。休みの日に母と買い物に行くため、電車に乗ることにしました。電車に乗るのは良かったものの満員で、座る席がどこもあいていません。しかたなく私たちは、次の駅まで立つことにしました。

次の駅で降りた人がたくさんいたので、私は、座ることが出来ました。はあつかれたと思って横を見ると、一人のおばあさんが重そうな荷物を持って立っていました。それに、私のように席に座っている人は、大人の人や、若い男の人ばかりです。おばあさんが目の前にいるのにみんな自分のことばかりでだれ一人席をゆずろうとする人はいませんでした。私は、悲しかった

し、なんてひどい人たちなんだと思いました。でもそれは、私も同じでした。私も「だれかが席をゆずれば良いのだ。」とただ、その一人のおばあさんを見ていただけでした。私は勇気を出して、そのおばあさんに声をかけようと思いました。

「あの…。」いざ話しかけるといいうのはなかなか難しくて声をかけられないままおばあさんは降りてしまいました。私はなんだか申しわけない気持ちになり、こんなに元気で健康な体なのに席をゆずれなかった自分がすごく恥ずかしいと思いました。それに、おばあさんの気持ちになつてみると、だれも席をゆずってくれず、とてもみじめな思いだったと思います。

私は、その夜、母と電車のおばあさんのことを話しました。すると母は、「今日は、とても良い経験になったじゃない。次に、また困った人がいたら声をかけたら。」と言いました。私は、まだまよまよした気持ちでした。次の週にまた電車に乗ることになりました。するとまた満員。やっとの

学年は応募時のものです

思いで席を取ることが出来ました。「ガフ。」

次の駅で、おばあさんが乗って来ました。歩くのがゆっくりで、つえをついた人でした。私は、母の方を見ました。母がニコッと笑つてうなずき、私は、目を閉じて一回深呼吸をしました。

「おばあさん。」おばあさんは、とてもびっくりしている様子でした。「あの…お席をゆずりましょうか。」私は、自分で自分が信じられなくなりました。私がそわそわしているとおばあさんが

「ありがとうございます。お嬢ちゃん。」と言ってくれました。わあ！スッキリ。なんて気持ちが良いんだろう。お年よりに席をゆずることは、あたりまえだけど、それが出来るのは勇気がある人だけです。だれかにまかせてばかりいても何もかわらないのなら勇気をだして声をかけてみるのが、私は本当のやさしさだと思います。

作文・中学生の部

言葉の大切さ

渡辺 紗枝さん（東中学校1年）

毎日使っていて当たり前の言葉。そんな、言葉について、少し振り返ってみました。

誰かに「言葉って何？」と聞かれたら、迷わず真つすぐに答えることができるでしょうか？言葉とは『人間が自分の気持ちを相手に伝えるため、音声や文字を使って表すもの』だそうです。私は、この意味を初めて知り一番に考えたことは、普段私は、一つ一つの言葉に相手への気持ちを込めて話せているだろうかということです。

私は、自分自身の中で大切だと思うものは、『あいさつ』です。その中でも朝一番の「おはよう」の挨拶です。家族や友達・近所の方から朝、「おはよう！」と言われると、「あー。今日も長い一日の始まりだ。元気に頑張るぞ。」と元気がお腹の底から出てきて、一日のスタートが気持ちよく来ます。だけど、たった一言の「おはよう」でも声の明るさや大きさなどで、一日の始まり方がちがってくるので、大事にしています。私の通っていた小学校では、三つの「あ」が大切にされていました。その中の一つが『あいさつ』です。私

たちの学級では「あいさつを大きな声で相手の顔を見てはつきりと自分から進んであいさつをする」という、長くて難しい目標を立てていました。その目標を達成できるよう、すれ違う人にできるだけ挨拶をするよう心掛けました。そして、ある日いつものように学校から帰ると、手編みの座布団の贈り物がありました。それは、毎日夕方になると家の前を通るおばちゃんからでした。なぜ頂いたのか母に聞くと、いつも私と弟が挨拶をしていたからだそうです。その理由を聞き、ビックリと嬉しさでいっぱいでした。だけど、高学年になると、一時、挨拶が面倒になったり、大きな声で自分から進んで挨拶ができない頃もありました。そんな事もありながら、やっぱり人とのコミュニケーションが大事ななと感じました。これからの、一般社会では『あいさつ』が当たり前になってきます。だから、自分が経験して挨拶の大切さを学んだことを忘れず、これからも、挨拶に取り組んでいきたいと思っています。

また、人との関わりで大切な言葉はいくつもあります。その中で、私が一番好きな言葉は、『ありがとう』です。私は、色んな人から『ありがとう』と言われると、嬉しくて、笑顔で、幸せに囲まれて、心に花が「パツ」と咲くようです。すると、もっと多くの人から『ありがとう』と言われるように頑張ろうと、元気が何十倍・何百倍にもなってきます。『ありがとう』は、人を

ポスター・小学生の部



山本 桃歌さん（城南小学校4年）

日常よくあることに立ち止まって、しっかりと書いています。席を譲ろうかどうかどうしようかと迷っている気持ちがよく表現されています。そして、いざ勇気を出して言葉にしたことで、心がすっきりとしていく気持ちの変化を我が事のように読みました。母親の一言はずいぶん重みがありました。高齢社会を迎え、筆者のような人ばかりだといいですね。

ます。

いつか、みんなが仲良く明るい生活を送れるようにするため、暴言を言わないように努力したいです。まず、初めは私から取り組んでいくよう、日々の生活で気をつけていきたいです。そしていつか、『あいさつ』や『ありがとう』『こめんなさい』が素直に言えるような、未来を作りたいです。

選評

毎日使うあたり前の言葉について振り返るなかで、「あいさつ」が大事であると考え、実践している様子がよく表現できています。そして、あいさつの中でも一番好きな言葉「ありがとう」は、人を喜ばせるもので、元気づけられる世界に必要な魔法の言葉ですと、広い視野で捉えた表現はすばらしく、ほのほのとした気分にさせてくれます。

あと一歩 踏み出す勇気が ぼくらを変える

標語・中学生の部

宮崎 萌さん（南中学校2年）





これから始める「日本語ボランティア」のための講習会

〈内容〉外国人に日本語を教える方法の基礎から実践まで教えます。〈日時〉5月8日～6月5日の毎週日曜日 いずれも10:00～11:30 〈場所〉西地区公民館（本町一丁目）〈参加費〉1,000円 〈申込方法・問い合わせ先〉ボランティア日本語教室スマイル事務局 ☎・FAX24-7241（吉岡方）、Eメール：toshiyuki_yoshioka@yahoo.co.jp

彦根市青少年少女発明クラブ クラブ員



〈内容〉青少年に科学的な興味・関心を追求する場を提供します。自由な環境の中で創造活動を行います。クラブ員自身で工夫しながら実験などをする中で、完成させる喜びを感じたり、科学的な発想を養ったりすることを目指します。〈活動期間〉6月～平成24年2月 〈場所〉市民会館 〈定員〉25人（申込者多数の場合は抽選） 〈対象〉小学4～6年生 〈参加費〉2,000円（材料費、傷害保険料） 〈申込期間〉4月15日（金）～5月13日（金） 〈申込方法・問い合わせ先〉各小学校に置かれている、申込用紙に必要事項を記入して、**市教育委員会学校教育課**にFAX。☎24-7971、FAX23-9190

科学的な興味・関心を追求する場を提供します。自由な環境の中で創造活動を行います。クラブ員自身で工夫しながら実験などをする中で、完成させる喜びを感じたり、科学的な発想を養ったりすることを目指します。〈活動期間〉6月～平成24年2月 〈場所〉市民会館 〈定員〉25人（申込者多数の場合は抽選） 〈対象〉小学4～6年生 〈参加費〉2,000円（材料費、傷害保険料） 〈申込期間〉4月15日（金）～5月13日（金） 〈申込方法・問い合わせ先〉各小学校に置かれている、申込用紙に必要事項を記入して、**市教育委員会学校教育課**にFAX。☎24-7971、FAX23-9190

ポルトガル語講座（初級Ⅰ）

〈内容〉日常生活に使う簡単な会話を学びながら、ブラジルの文化・習慣にも親しみます。〈対象〉市内に在住・在勤・在学中で、初めてポルトガル語を学ぶ人 〈日時〉5月10日～6月7日の毎週火曜日 いずれも19:00～20:30 〈場所〉市役所4階 41会議室 〈定員〉15人（先着順） 〈教材費〉2,000円 〈申込開始日〉4月18日（月） 〈申込・問い合わせ先〉**市人権政策課** ☎30-6113、FAX22-1398



韓国・春川市訪問 市民交流団員

〈内容〉彦根市国際協会では、韓国・春川市を訪問する市民交流団を派遣します。友好提携を結んでいる春川市内の国際交流団体との交流などを通じて国際理解と親善を深めます。〈派遣期間〉5月27日（金）～同30日（月） 〈派遣先〉春川市、ソウル市 〈参加資格〉市内に在住・在勤の18歳以上（高校生は除きます。70歳以上の人は、訪問に耐えうると判断できる医師の診断書が必要です） 〈定員〉10人（先着順） 〈参加費〉50,000円程度 〈申込期間〉4月19日（火）～同28日（木） ※日・月曜日を除きます。 〈申込方法・問い合わせ先〉彦根市国際協会事務局（市民会館1階、市民・国際交流サロン内）にある、所定の用紙に必要事項を記入して、FAXか、直接彦根市国際協会事務局の窓口。☎22-1411（内線590）、FAX22-1398

はなみ 花菜実塾

〈内容〉湖東地域農業センターの「花菜実塾」を、グリーンピアひこねで合同開催します。花や野菜、果樹（果物）の栽培を園農産普及課とJA東びわこの営農専門の人が基本からアドバイス・サポートします。〈日時〉5月12日（木）～平成24年3月15日（木）（全15回） いずれも13:30～15:30 〈場所〉グリーンピアひこね（清崎町） 〈定員〉20人 〈参加費〉無料 〈申込期限〉5月2日（月） 〈申込・問い合わせ先〉電話か、①氏名、②住所、③電話番号を書いてFAXで、グリーンピアひこね ☎25-3909、FAX25-3972

彦根市新規就農者発掘事業

〈対象〉上記の「花菜実塾」の野菜講座を受講する人 〈内容〉約50㎡の体験区画で、野菜栽培体験 〈日時〉①農業体験開講期間 6月～平成24年3月 ②栽培期間 6月～平成24年2月 〈場所〉松原町 〈定員〉14人（1家族1人） 〈参加費〉栽培に伴う経費は個人負担。 ※借地料、整地代など、農園の整備に係る経費は不要です。 〈その他〉体験をしていただくのに、条件があります。詳しくは、グリーンピアひこねにお問い合わせください。 〈申込期限〉5月2日（月） 〈申込・問い合わせ先〉電話か、①氏名、②住所、③電話番号を書いてFAXで、グリーンピアひこね ☎25-3909、FAX25-3972



バラ園管理ボランティア

〈内容〉現在、庄堺公園には約1,200本のバラが植栽されています。このバラ園の一部を、一年間世話（剪定、薬剤散布、草刈りなど）をしていただく人を募集します。 ※用具などは参加者の負担 〈対象〉指定する日（平日で週1日程度）に必ず参加できる人 〈定員〉5人（申込者多数の場合は抽選） 〈申込期限〉4月27日（水）（当日消印有効） 〈申込方法・問い合わせ先〉はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、**市都市計画課公園緑地係**（〒522-8501 元町4-2） ☎30-6124、FAX24-8517



彦根市男女共同参画フォーラム 実行委員

「男女共同参画フォーラム」は、男女共同参画社会の実現を目指して、市民一人ひとりが学習したり、話し合ったりする「つどい」の場です。市民の手作りによる事業を実施するため、実行委員を募集します。 〈実行委員の活動内容〉フォーラムの企画会議への参加、フォーラム開催当日の運営など 〈フォーラムの期日・会場〉未定（実行委員会で決めます） 〈参加資格〉市内に在住・在勤・在学の人 ※経験の有無は問いません。 〈申込期間〉4月15日（金）～5月13日（金） 〈申込・問い合わせ先〉電話、FAX、Eメールで、**市男女共同参画センター「ウィズ」** ☎24-3529（FAX共用）、Eメール：with.hikone@oboe.ocn.ne.jp



彦根市では、地域社会の新たな担い手として注目される市民活動団体が自主的、自立的に行う社会貢献活動に対して、その活動に必要な経費の一部を助成することにより、市民活動を応援します。

助成対象団体

- ▼ 特定非営利活動法人（NPO法人）
- ▼ ボランティア活動、その他の非営利活動を行う団体 ※自治会などは除きます。

助成対象事業

- ▼ 市内で行う社会貢献活動

助成金額など

- ▼ 助成対象経費の1/2以内（5万円が上限です）

応募方法

所定の申請書に必要事項を記入のうえ、添付書類を添えて、提出期限までに、**まちづくり推進室**に直接提出いただくか、郵送してください。

申請書は、**まちづくり推進室**、支所、各出張所、各地区公民館などに置いています。彦根市ホームページからダウンロードすることもできます。

市民活動を応援します！

「ひこね市民活動促進助成事業」募集

彦根市では、地域社会の新たな担い手として注目される市民活動団体が自主的、自立的に行う社会貢献活動に対して、その活動に必要な経費の一部を助成することにより、市民活動を応援します。

申込期間 4月20日（水）～5月19日（木）（必着）

◆ 添付書類など、詳しくは、**まちづくり推進室**にお問い合わせください。

説明会を開催します

助成事業の概要、申請にあたっての留意点などを説明します。

※説明会に参加しなくても申請できます。

日程 4月20日（水）

1回目 午後1時30分

～同3時

2回目 午後6時30分

～同8時

場所 市役所5階 第3委員会室

申込 事前申込は、不要です。

問い合わせ先 **まちづくり推進室** ☎30-6117番、FAX22-1398番（〒522-8501 元町4-2）、Eメール：machizukuri@macity.hikone.shiga.jp

東日本大震災の義援金を募集しています

彦根市では、東日本大震災で被災された方々に対する義援金を募集しています。皆さんのご支援をよろしくお願いいたします。

今回、新たに滋賀銀行を口座振込先として追加しましたので、お知らせします。

義援金は、日本赤十字社滋賀県支部（**市出納室内**）、彦根市共同募金委員会（彦根市社会福祉協議会内）でも受け付けています。

義援金等の詐欺にご注意を

実在する団体の名をかたり、「被災者支援の募金」などと称して特定の口座に振り込ませようとするなどの詐欺の報告が寄せられています。不審な電話があった場合には、警察に通報・相談してください。

問い合わせ先 **市危機管理室**

☎30-6150番、FAX22-1398番

皆様のご支援をよろしくお願いします

◆受付期限 9月30日（金）◆

義援金募集方法 《口座振込による支援》
義援金の名称 『彦根市東北関東大震災義援金』

金融機関	支店名	口座番号	口座名
滋賀中央信用金庫	彦根営業部（001）	普通預金 634000	彦根市東北関東大震災義援金
滋賀銀行	彦根支店（413）	普通預金 305097	彦根市東北関東大震災義援金

※他の金融機関やATMを利用する場合は手数料がかかる場合があります。

※特に記載のないとき、相談料は無料です。

相談名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
市民活動・ボランティア相談会	4月23日(土) 10:00～12:00	ひこね市民活動センター (金亀町) ☎24-4461 FAX47-5402	これから活動を始めたい、活動をしていて困っているなど、市民活動に関する相談に、ひこね市民活動センターのスタッフが応じます。
日曜納税相談	4月24日(日) 10:00～16:00	園納税課 ☎30-6109	毎月1回、日曜納税相談窓口を設けて、市税の納付についての相談に応じます。
労働法律相談	5月6日(金) 18:30～20:00	ひこね燦ばれす ☎26-7272	職場における悩み事、工作上困難な問題について、弁護士が相談に応じます。電話による予約制(受付は、4月19日(火)9:00から先着3人 ※月曜日は休館日)
多重債務者会 無料相談	5月7日(土) 10:00～13:00	園消費生活センター (元町)	弁護士・司法書士が相談に応じます。(1件1時間) 電話による予約制。(先着6人) 園 県民活動生活課消費生活担当 ☎077-528-3412
人権なんでも相談	5月11日(火) 13:00～15:00	相談室 (市役所1階)	いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談に応じます。 園人権政策課 ☎30-6115、FAX22-1398
司法書士 無料法律相談	5月21日(土) 9:30～12:30	彦根勤労福祉会館 2階研修室	サラ金、クレジット、少額裁判などの法律相談に応じます。 (3週間前から予約受付) 1人45分 司法書士総合相談センター彦根 ☎077-527-5576
	毎週木曜日 17:30～20:30	ひこね燦ばれす (小泉町)	
子ども・家庭相談	毎週月～金曜日(祝日は除く) 8:30～17:15	園家庭児童相談室 ☎23-7838 FAX26-1768	子どものことをはじめとする家庭内の悩み(育児不安、児童虐待、ドメスティック・バイオレンスなど)について、相談に応じます。
消費生活相談	毎週月～金曜日(祝日は除く) 9:15～12:00 13:00～16:00	園生活環境課 消費生活相談窓口 ☎30-6144	多重債務問題や架空請求への対処、悪質商法の被害、クーリング・オフの方法など、消費生活や契約のトラブルに関する相談に応じます。
交通事故相談	毎週火・木曜日 9:00～16:00	湖東合同庁舎2階 (元町)	被害者・加害者を問わず、専門の相談員が相談に応じます。また、電話による相談にも応じます。(祝日を除く月～金曜日) 県立交通事故相談所彦根分室 ☎27-2230
多言語電話相談	毎週水・木・金曜日 (祝日は除く) 10:00～12:30、13:30～16:00	☎27-2400 (相談専用電話)	日本の習慣や制度、市役所などでの手続き、生活の中で困ったことなどの相談に、3つの言語で応じます。 水曜日＝英語、木曜日＝ポルトガル語、金曜日＝中国語



消費生活相談窓口つうしん

第29回

今回、業者が残した領収書の住所地には会社が実在せず、電話番号も記載されていないことから、被害に遭われたお金を取り戻すことができませんでした。このような悪質業者は、高齢者の世帯を調べ上げたうえで訪問し、言葉巧みに高額な布団の購入やクリーニングの契約の話をします。

もし、自宅へ不審な訪問販売業者が来たときは毅然とした態度で断り、玄関の鍵を開けないようにしましょう。

訪問販売の契約トラブルなど消費生活に関することは「彦根市消費生活相談窓口」にご相談ください。

相談事例

2月末に突然男性2人が自宅に来て、無料で布団を洗濯すると言われた。無料ならと了承したところ、布団を点検し、カビが生えていると不安をোধり、除去すると今後10年間は何もしないで使えると安心させて、除去代3万円を要求され払ったが、約束の日になっても布団が届けられない。

市内で最近起こった悪質訪問販売の情報をお伝えします。

消費生活相談窓口 ☎30-6144番

消費者トラブルに 遭わないために



▲昨年の庭園の様子

新緑の名勝を特別公開

旧彦根藩松原下屋敷(お浜御殿)庭園

名勝旧彦根藩松原下屋敷庭園は、市民の大切な宝であり、新たな観光資源としても期待されます。そこで、いまだ整備の途中ですが、新緑の季節の観光シーズンに合わせて特別公開します。

問い合わせ先 園教育委員会文化財課 ☎26-5833番、FAX 26-5899番、Eメール: bunkazai@mx.nikone.ed.jp

旧彦根藩松原下屋敷庭園は、11代当主井伊直中により、文化7年(1810)頃に、びわ湖畔に造営された下屋敷です。彦根藩のもう一つの下屋敷である槻御殿(玄宮楽々園)とは立地や趣も異なり、公式性を離れた井伊家の内向きの庭園を主体とした下屋敷でした。松原下屋敷の庭園は、優れた造営技術を駆使し、びわ湖の水や山の自然を活かして造られています。びわ湖の水位と連動して汀線(波打ちぎわ)が変化する汐入型式の手法を用いた池を中心に西側は洲浜の広がる緩やかな景観とし、東側は築山(庭に築いた小さな

山)が折り重なる深遠な趣となっています。13代当主井伊直弼の時代には、「がけの御茶屋」「南台之御茶屋」「通天御茶屋」「菊之御茶屋」の4棟の茶室も要所に設けられていたようですが、現存していません。

春の特別公開

公開期間 4月23日(土)～5月15日(日) 期間中無休
公開時間 午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)
場所 松原町515(彦根港近辺)
料金 無料
その他

- 公開は庭園のみで、建物内は入れません。
- 説明が必要な団体は、事前にお申し込みください。
- 車でお越しの場合は、びわ湖側臨時駐車場(無料)に駐車してください。
- 庭園内で、喫煙・飲食・火気使用はできません。
- 飼い犬・飼い猫は、管理者が責任を持って管理して入園してください。
- 庭園内は、便所がありませんので、彦根港公衆便所をご利用ください。

生調査、そして測量調査などを実施しました。これらの調査により、松原下屋敷の庭園が玄宮楽々園とは様相の異なる大名庭園であり、近世の大名文化を理解するうえで欠くことのできない貴重な文化財であることが明らかになりました。

そこで、平成12年度には彦根市指定文化財(名勝)に指定し、平成13年度には国の名勝指定を受けました。平成14年度からは彦根市が管理団体となり、庭園の維持管理を図るとともに、庭園の公有化に努めています。今後、公有化にめどが立った段階で、国の補助と指導を得ながら、庭園や歴史的建造物の保存修理を実施し、一般公開を図っていく予定です。

※汐入型式

海水の干満を利用して池の景色を変える庭園技法。汐入型式の池をもつ旧大名庭園としては、浜離宮恩賜庭園(東京都)や養翠園(和歌山県)などが知られていますが、旧彦根藩松原下屋敷の庭園は淡水(びわ湖の水)を利用した汐入型式の手法を用いた、わが国唯一の庭園です。



予 防 接 種

個別予防接種のお知らせ

彦根市では、下表の予防接種を実施しています。

予防接種は、感染症を防ぐために大切なものです。事前に配布している予防接種の説明書の注意事項などをよく読んで、接種してください。

予防接種が受けにくい状況（長引く病気があるなど）にある場合や、予防接種にご不明な点がある場合は、[困](#)健康推進課にご相談ください。

対 象 彦根市に住民登録、外国人登録のある児

実施方法 予約制（指定医療機関に、事前に予約してください）

※指定医療機関は、個人に通知している案内でご確認ください。

わからない場合やかかりつけ医が市外にあるなど、指定医療機

関での接種が難しい人は、事前に [困](#)健康推進課にご相談ください。

接種費用 無料 ※ただし、定められた年齢（定期年齢）内に接種できなかった場合は、有料になります。

その他 接種は原則として保護者同伴です。ただし、「麻しん・風しん」３・４期の対象者は、保護者の同伴がなくても専用の予診票で、保護者の事前同意があれば接種ができます。専用の予診票が必要な場合は、[困](#)健康推進課にご連絡ください。

問い合わせ先 [困](#)健康推進課 ☎24-0816、FAX24-5870

個別予防接種の種類

予防接種名	区分	定期年齢（標準的な接種期間など）	間隔・回数
ジフテリア・百日せき・破傷風 （三種混合：DPT）※ ¹	1期初回	3か月以上7歳6か月未満 （3か月以上12か月未満）	1期初回 20～56日（3～8週間）の間隔で3回接種（接種間隔を守りましょう）※ ⁴
	1期追加	3か月以上7歳6か月未満 （初回終了後12か月以上18か月未満）	1期追加 1期初回の3回目の接種日から1年～1年半後に1回接種
ジフテリア・破傷風 （二種混合：DT）	2期	11歳以上13歳未満 （平成11年4月2日～同12年4月1日生まれの人）	1回接種（13歳になるまでは接種できます）※ ⁵
麻しん・風しん※ ² 原則として、麻しん・風しん混合（MR）ワクチンで接種します	1期	1歳以上2歳未満	1回接種（満1歳になったらすぐに接種しましょう）
	2期	平成17年4月2日～同18年4月1日生まれの人 （就学前の1年間に相当する人：保育所・幼稚園の年長に相当する期間）	1回接種（平成24年3月31日までに接種してください） ※感染予防のため、6月中までに接種することをおすすめします。
	3期	平成10年4月2日～同11年4月1日生まれの人 （中学1年生に相当する人）	
	4期	平成5年4月2日～同6年4月1日生まれの人 （高校3年生に相当する人）	
日 本 脳 炎	1期初回	6か月以上7歳6か月未満※ ³ （3歳以上4歳未満）	1期初回 6～28日（1～4週間）の間隔で2回接種（接種間隔を守りましょう）※ ⁶
	1期追加	6か月以上7歳6か月未満 4歳以上5歳未満	1期追加 1期初回の2回目の接種日からおおむね1年後に1回接種
	2期	9歳以上13歳未満	1回接種

※¹ ジフテリア、百日せき、破傷風にかかったことのある人も、三種混合のワクチンを接種することができます（百日せきのみにかかった人で、特に希望される場合は、二種混合：DTワクチンも使用することができます）。ただし、3つ全ての疾患にかかった場合は、三種混合のワクチンを接種する必要はありません。

※² 麻しん、風しんのいずれかにかかった人も、麻しん・風しん混合ワクチンを接種できます。保護者の希望で麻しん・風しんの単独ワクチンも選択できます。ただし、両方にかかった場合は、麻しん風しん混合ワクチンを接種する必要はありません。

※³ 海外渡航などの理由で、早く接種を希望する場合は、[困](#)健康

推進課に相談いただくと、6か月から接種できます。

※⁴・⁶ ※⁴は間隔が56日を超えた場合に、※⁶は間隔が28日を超えた場合に、任意接種（法律に基づかない保護者の希望による接種）になることがあります。当面、接種にかかる費用は、公費で負担しますが、万一健康被害が起こった場合は、予防接種法に基づく健康被害救済制度ではなく、医薬品副作用被害救済制度による対応となり、補償内容が変わります。

※⁵ 三種混合1期がふじゅうぶんな接種の場合（2回以下）、1回のみ接種してもじゅうぶんな効果が得られません。ただし、追加で接種する場合は、実費となります。

日本脳炎の予防接種についてお知らせ【平成17年からの接種勧奨を差し控えた人への対応】

◎日本脳炎第1期（初回2回、追加1回）の予防接種が受けられなかった人の接種

①第1期の予防接種が1回、または2回しか接種できていない人

不足回数分を9歳から13歳未満の年齢で接種できます。

◇1回接種している人：残り2回を6日以上の間隔をおき接種します。

◇2回接種している人：残り1回を接種します。

②第1期の予防接種を一度も接種できていない人

9歳から13歳未満の年齢で第1期の予防接種を受けることができます。第1期の初回接種として、6～28日の間隔をあけて2回、追加接種として初回終了後おおむね1年後に1回接種します。

◎日本脳炎第2期の予防接種

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンを日本脳炎第2期（9歳以上13歳未満）の接種に使用できます。



行 事 名	日 時	場 所	内 容 ・ 問 い 合 わ せ 先 等
あかちゃんと絵本をたのしむつどい	4月23日(土) 10:30～11:30	市 立 図 書 館 ☎22-0649 FAX26-0300	内 容：乳幼児に絵本を読みながら、保護者に絵本の読み方や楽しみ方を話します。 対 象：3歳以下の子どもと保護者 定 員：20組（先着順）※事前に申込が必要です。
小学生の読書とは～子どもを本好きにするために～	4月23日(土) 14:00～15:30		内 容：小学生が絵本から文字の本を読んでいけるようになるために、大人がどうサポートしたらいいか話します。 対 象：小学生の保護者、読み聞かせボランティアの人 定 員：30人（先着順）※事前に申込が必要です。
楽しいおはなしのつどい	5月7日(土) 14:00～		内 容：大型絵本、パネルシアター、絵本の読み聞かせ、すばなし ほかにひこね児童図書研究グループ
絵本をたのしむつどい	5月14日(土) 14:00～		内 容：ブックトーク…テーマにそって本の紹介をしながら、絵本を読みます。 ひこね児童図書研究グループ
新 緑 狂 言 会	4月27日(水) 17:45～19:15 （開場17:15）	滋 賀 大 学 講 堂 （馬場一丁目）	内 容：大蔵流狂言茂山千五郎家による公演を行います。 ※事前に申込は不要です。 滋賀大学講堂で狂言をみる会 ☎27-1113 Eメール：kyogen@st.shiga-u.ac.jp

※特に記載のないときは無料です。

ゴールデンウィーク
期間中の救急医療

●救急医療案内
救急医療情報システム
☎23-3799番

●休日診療所
☎22-1119番
診療所名 彦根休日急病診療所（福祉保健センター内）
診療科目 内科・小児科
診療日 4月29日(金)、5月1日(日)、同3日(火)、同4日(水)、同5日(木)
診療時間 午前10時～午後7時（受付は午後6時30分まで）
同5日(木) 午前10時～午後7時（受付は午後6時30分まで）

●歯科当番医
5月3日(火) 朝比奈歯科医院（後三条町）
☎23-6480番
5月4日(水) 小林歯科医院（中央町）
☎22-6448番
5月5日(木) 太田歯科医院（京町三丁目）
☎22-0328番
※診療時間は、いずれも午前9時～午後3時30分

みどりを守ろう みどりを育てよう

緑は下の図のとおり、私たちの住む街を守り、快適な場所を与えるなど、さまざまな恩恵を与えてくれます。4月15日(金)～5月14日(土)はみどりの月間です。これを機会に、緑の大切さを感じてみましょう。

問い合わせ先 [困](#)都市計画課 ☎30-6124、FAX24-8517

緑が与えるさまざまな効果

街の景観を美しくする

気温をやわらげる

小動物の住みかになる

二酸化炭素を吸収してくれる

心をいやしてくれる

強い風を弱めてくれる

季節感を感じさせてくれる

騒音をふせいでくれる

強い日ざしから守ってくれる

火災の延焼をふせいでくれる

あつまれ彦根っこあそびの広場

荒神山公園春のつどい

体験コーナーや楽しい遊びなど、アイデアあふれる内容が満載です。子どもたちのために、ふれあい遊びを開催します。キッズダンスなどのステージ発表や、フリーマーケット（ひこねエコマーケット「夢畑」）も行います。楽しい一日を過ごしてください。

日 時 5月4日(水祝) 10:00～15:00

場 所 荒神山公園（日夏町）

※雨天時は、子どもセンター

参加料 無料

主催 高木・技研特別共同体 ☎21-3923、ホームページ：http://www.takagizoen.co.jp/

協力 彦根市子ども会指導者連合会

後援 彦根市、[困](#)教育委員会



健康推進課

(平田町・福祉保健センター1階)

☎24-0816
FAX24-5870

電話番号は、おかけ間違いのないようにご注意ください。

健康だより

ひこね元気計画21
推進中！


すくすく ベイビー




善利隆英ちゃん
(芹町)



東條結衣ちゃん
(大藪町)



上川愛琉ちゃん
(高宮町)



ひこね元気計画21
マスコットキャラクター
“コンキー君”

母子保健

赤ちゃんサロン

☆母子健康手帳をお持ちください。
日時 5月17日(火) 9:45～11:30
(受付は9:30～9:45)
場所 福祉保健センター1階
対象 2～3か月児とその保護者
内容 子育てに関する情報交換や、友だちづくり

すくすく相談

☆母子健康手帳をお持ちください。
●身体計測 (9:30～11:00)
場所：福祉保健センター別館2階
5月 2日(月) 対象：4か月～1歳未満児
※栄養士の相談もあります。
5月12日(木) 対象：1歳以上の児
※絵本の開き読みもあります。
5月26日(木) 対象：4か月未満の児
※全乳幼児対象の個別相談も行います。

●身体計測・個別相談 (9:30～11:00)
5月20日(金) 東山会館
5月24日(火) 人権・福祉交流会館
(WAっとねす春日)
5月25日(水) 稲枝地区公民館

5月の乳幼児健康診査

※対象児の生年月日をご確認のうえ、お越しください。
※該当月に来られない場合は、ご連絡ください。

健診名	実施日	対 象
4 か 月 児	10日(火)	平成22年12月25日～平成23年1月7日生
	17日(火)	平成23年1月 8日～1月19日生
10か 月 児	11日(水)	平成22年6月26日～7月 7日生
	18日(水)	平成22年 7月 8日～7月21日生

場 所 福祉保健センター1階
受付時間 13:00～14:00

1歳6か月児	13日(金)	平成21年10月30日～11月 9日生
	20日(金)	平成21年11月10日～11月20日生
2歳6か月児	12日(木)	平成20年10月27日～11月 9日生
	19日(木)	平成20年11月10日～11月21日生
3歳6か月児	9日(月)	平成19年10月25日～11月 7日生
	16日(月)	平成19年11月 8日～11月22日生

対 象 主に亀山・稲枝地区の児
受付時間 13:30～14:00
場 所 南老人福祉センター (稲枝支所の北隣・田原町)

4 か 月 児	25日(水)	平成22年12月26日～平成23年1月22日生
10か 月 児	25日(水)	平成22年6月26日～7月21日生



※4か月児健診以外は、個人通知はありませんので、「すくすく手帳」で内容・持ち物をご確認ください。

※1歳6か月児健診は歯ブラシ、2歳6か月児健診は歯ブラシとコップをお持ちください。



※3歳6か月児健診では、検尿があります。朝一番の尿を、きれいに洗ったビンなどに入れてお持ちください。

成人の健康

けんこう相談

●保健師による相談 (9:30～11:00)
5月13日(金) 福祉保健センター1階
5月20日(金) 東山会館
5月24日(火) 人権・福祉交流会館
(WAっとねす春日)

5月25日(水) 稲枝地区公民館

※上記の日程以外にも、電話での相談や定例外の相談も随時行っています。



栄養相談

～新米ママのための食生活アドバイス～
離乳食作りや家族のための食事作りに悩んでいる人の食生活をアドバイスします。

日時 5月9日(月) 9:00～、10:20～
(予約制、各1人)

場所 福祉保健センター1階

※上記以外にもさまざまな相談を受け付けています。気軽に申し込んでください。



パパママ学級

これからの出産や育児について、もうすぐパパやママになる人と一緒に学んでみませんか。

内容 赤ちゃんのお世話(お風呂、おむつ交換、だっこの仕方)、妊婦体験など

日時 5月14日(土) 10:00～12:00
(受付は9:45～10:00)

場所 福祉保健センター別館2階
対象 市内に住民登録のある妊娠28週以降の夫婦

定員 18組(申込多数の場合は、予定日が近い人、第1子の人を優先します)

持ち物 母子健康手帳・父子健康手帳

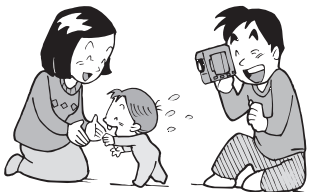
その他 託児はありません。

申込期限 4月22日(金)

申込方法 福祉健康推進課へ。
QRコード対応の携帯電話を使って申し込みすることもできます。



▲パパママ学級の申し込みQRコード



動く図書館 たちばな号

巡回日程【5月前半】市立図書館 ☎22-0649
FAX26-0300

日・曜日	駐 車 場	時 間
6日(金)	宮田町山田神社	11:00
	JA東びわこ鳥居本支店駐車場	13:20
	鳥居本高根団地	14:10
	小野こまち会館	15:00
10日(火)	太平団地	13:20
	東山会館	14:10
	湖上平団地堤医院前	15:00
11日(水)	葛籠町公民館	13:30
	高宮地域文化センター	14:20
	BSPAパート2号棟	15:10
12日(木)	清崎町ばんば	13:20
	JA東びわこ本店前駐車場	14:10
	河瀬地区公民館	15:00
13日(金)	多景保育園	13:20
	長曾根町・エクセレントヒルズ彦根	14:10
	彦根ニュータウン中央部	15:00
14日(土)	亀山出張所	13:30
	人権・福祉交流会館(WAっとねす春日)	14:20
		15:10
17日(火)	鳥居本地区公民館	11:00
	小泉町百貨卸センター駐車場(東側)	13:20
	東沼波町秋葉神社	14:10
	旭森地区公民館	15:00
18日(水)	JA東びわこ種子センター	13:20
	滋賀観光バス彦根営業所	14:10
	ローソン彦根外町店駐車場	15:00

※駐車場での駐車時間は、30～40分間です。

図書館休館日

5月前半

2日(月)、3日(火祝)、
4日(水祝)、5日(木祝)、9日(月)

健康だより

ハローベビー教室

●第3コース

(歯科健診と歯みがき教室・赤ちゃんの歯について)

日時 5月26日(木) 13:30～15:30
(受付は13:15～13:30)

場所 福祉保健センター1階

対象 妊娠16週以降の人

定員 25人(先着順)

申込期間 5月2日(月)～同20日(金)

申込方法 福祉健康推進課へ。

QRコード対応の携帯電話を使って申し込みすることもできます。

持ち物 歯ブラシ、コップ、手鏡、
母子健康手帳



▲ハローベビー教室の申し込みQRコード

離乳食教室

～1日2回食に進みましょう～

☆母子健康手帳をお持ちください。

日時 5月19日(木) 9:45～11:30
(受付は9:30～9:45)

場所 福祉保健センター1階

対象 7～8か月児とその保護者



し尿収集予定日 5月前半

彦根市事業公社 ☎23-4135 FAX23-4134

※臨時の収集は、早めに申し込んでください。
(臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します)

※収集の状況によって、収集日は3日程度前後することがありますが、ご了承ください。



2日(月) 野田山、正法寺、地藏、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、銀座、中央(第1・4部)、芹橋一丁目、芹橋二丁目(河原二丁目一部を含む)、幸、松原一丁目、松原二丁目、松原(四ツ川)、西今、平田(大沢)、三津

6日(金) 野田山、正法寺、地藏、外、里根、幸、安清、芹、西今、野瀬、海瀬、三津屋

9日(月) 里根、外、城町一丁目、栄町一丁目、池州、幸、開出今団地(第1・3部)、八坂、八坂北、西今、宇尾、須越

10日(火) 山之脇、芹川(南、大仏、千鳥ヶ丘)、大藪、小泉(開出)、開出今蔵の町団地、竹ヶ鼻、八坂東団地、宇尾

11日(水) 地藏町(湖上平団地)、原(原西団地)、芹川(北、千鳥ヶ丘)、後三条(下)、開出今、宇尾、清崎(西、清崎団地)

12日(木) 正法寺(太平団地)、大橋、元岡、沼波、西沼波(東部)、立花、中央(第2・3部)、中藪一丁目、開出今、竹ヶ鼻、宇尾、賀田山(大山、小山、茂賀、小田部)

13日(金) 正法寺(太平団地)、金亀、尾末、中藪、元、船、旭、城町二丁目、栄町二丁目、馬場一丁目、馬場二丁目、長曾根、開出今、京町一丁目、京町二丁目、京町三丁目、清崎(東、西)、彦富(笹田団地を除く)、金沢(林、中下、長江)

この「広報ひこね」は48,800部作成し、1部当たりの単価は7円(1円未満切り捨て)です。
ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

連載企画 「わたしの町の戦国 第11回」

佐和山とその時代⑥ 石田三成と佐和山城

石田三成の佐和山入城

天正18年(1590)、小田原の北条氏滅亡に伴う領地替えによって、豊臣秀次とその宿老(秀次を支える大名)たちは東海地方へ移封となりました。宿老の一人であった佐和山城主堀尾吉晴もまた浜松城へ移ります。こうして大名の居なくなった近江では、天正19年の年明けから4月にかけて、太閤検地が実施されました。

この検地の結果を受けて、4月には新たな領地が豊臣秀吉から分配されました。その中には、石田三成に対して、犬上郡・神崎郡と美濃の秀吉蔵入地(秀吉が直接管轄する土地)4万5千石を預かる代官として佐和山入城を命じたものがありました。つまり、天正19年4月に三成は佐和山に入城しましたが、あくまで秀吉の蔵入地を管理する代官としての入城であり、三成の領地は佐和山城周辺にはなく、美濃の地に広がっていました。三成が晴れて4郡(犬上郡、坂田郡、東浅井郡、伊香郡)を治める城持ち大名

となるのは、4年後の文禄4年(1595)のことです。

文禄4年7月、秀次事件が起きます。この事件は、関白に就任していた秀次が、秀吉により高野山に追放され、切腹を命ぜられたものですが、この事件によって三成はよりいっそう秀吉に重用されるようになり、その結果、8月に4郡19万4千石を領する佐和山城主となったのです。

掟書の発布と佐和山城の大改修

三成は佐和山城主になると、翌年さっそく新しく領地となった村々への掟書の発布と、城の大改修を実施しました。

掟書は文禄5年(1596)3月1日付けで、村々へ一斉に発布されました。それらは13か条と9か条の2種類があり、13か条は三成の直轄領の村宛、9か条は三成の家臣に与えた村宛ですが、両方で内容に大きな変化があるわけではありません。当時の諸大名の中で、自分の領内にこれほど細やかな配

慮を示したものはほとんど確認できないようであり、三成の領主としての優れた手腕を垣間見ることが出来ます。

2種類のどちらの掟書も、冒頭は人足についての規定でした。佐和山城の大改修を実行するためには、そこで働く人足が必要でした。しかし、新しく領主となった三成や家臣が、際限なく領民たちを酷使すれば人心は離れてしまいます。そこで人足を徴発するため

に一定の基準を明示する必要があると、それが掟書の発布につながったと考えられます。三成が佐和山城主になって早々に実施した掟書の発布と佐和山城の大改修は、密接に関連するものであったといえるでしょう。

こうして掟書が発布された3月以降に、4郡の人足を徴発して佐和山城の大改修が本格的に着手されることになりました。それは、当時の資料に「佐和山惣構御普請」と記されているように、城郭のみならず城下町も含んだ大改修であったと考えられます。

▲石田三成画像(部分・龍潭寺所蔵)



問い合わせ先 市教育委員会文

化財課 ☎26-58003番、FAX

26-58009番、Eメール

bunkazai@mx.hikone.ed.jp